

(別紙)

数字・文字入力必要箇

選択必要箇所

自動入力箇所

提出書類の区分		温室効果ガス排出抑制計画書							
住所		宮崎県宮崎市清武町今泉丙1860							
氏名		宮崎エプソン株式会社 井出 清久							
主たる業種		28電子部品・デバイス・電子回路製造業							
事業概要		人工水晶製造・水晶部品製造							
事業者の区分 ※該当する項目 すべてにチェックを入れてください。(複数可)	<input checked="" type="checkbox"/>	みやざき県民の住みよい環境の保全等に関する条例施行規則第9条第1号に該当する特定事業者							
	<input type="checkbox"/>	みやざき県民の住みよい環境の保全等に関する条例施行規則第9条第2号に該当する特定事業者							
	<input type="checkbox"/>	みやざき県民の住みよい環境の保全等に関する条例施行規則第9条第3号に該当する特定事業者							
	<input type="checkbox"/>	みやざき県民の住みよい環境の保全等に関する条例施行規則第9条第4号に該当する特定事業者							
	<input type="checkbox"/>	特定事業者以外の者							
計画期間		2023年度～	2023年度	令和5年度～	令和5年度～	1か年			
排出状況及び目標	目標設定の方法	基準年度の実績①		前年度の実績		目標年度②		増減率	
		2022年度	2023年度	2022年度	2023年度	2023年度	2023年度	$(②-①)/① \times 100$	
	総排出量	7,346 t-CO2			t-CO2	6486 t-CO2	t-CO2	-11.7071 %	
	原単位の排出量	0.5				0.47		%	
原単位の考え方		CO2排出量を総生産数でわり、百万個あたりの排出量を算出。							
目標達成のための		省エネ設備へのシフトと、歩留まり改善、効率改善により、原単位での電気使用量削減に取り組む。							
目標達成のための推進体制		全職場にて構成される省エネルギー推進体制（推進責任者：部門長クラス、構成員にエネルギー管理者含む）を基軸とした環境マネジメントの仕組みを活用して、活動を展開している。							
目標達成のための措置の内容		・エプソン環境活動で温室効果ガス削減に向け SBT(Science Based Target)目標を展開しており、2025年までに老朽化したコンプレッサーを高効率インバーター機へ更新する。 (環境活動URL： https://www.epson.jp/SR/environment/midterm_vision/) ・生産ラインの省エネ（歩留まり改善、効率改善、空調温度管理）							
特記事項		2022年12月より九州電力へ変更（2023年度も引き続き九州電力より購入）							